Ⅱ　理念・運営編

（以下の項目についての考え方、対応方針などを記入してください。）

1. 理念に基づく運営
2. 管理者と職員における地域密着型サービスの意義をふまえた事業所の理念とその共有と実践について

○理念の内容について、またどのように実践していくのか

1. 事業所と地域の付き合い、事業所の力を活かした地域貢献、運営推進会議を活かした取り組みについて

○近所づきあいや地元の活動、地域住民との交流の内容

○運営推進会議での意見を、どのように活かしていくのか

1. 市町村との連携について

○市との協働関係を築いていこうとする姿勢について

1. 身体拘束をしないケアの実践、虐待防止の徹底、権利擁護に関する制度の理解と活用、契約に関する説明と納得について

○どのように虐待の危険を早期に見つけ、関係機関と協働しながら速やかに対応するのか

1. 運営に関する利用者、家族等及び職員からの意見の反映について

○どのように意見、要望を引き出し、サービスの質の確保・向上につなげていくのか

1. 就業環境の整備、職員を育てる取組について

○向上心を持って働けるような配慮・対応はどのようにしていくのか

1. 災害対策について

○具体的な避難策

○地域、他の事業所との連携

1. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
2. サービス導入の初期に築く本人・家族等との信頼関係づくり、初期対応の見極めと他の社会資源等の活用も含めた支援について

○本人、家族との関係作り

○サービスの段階的な支援の工夫

1. 本人と共に過ごし支えあう関係、本人を共に支えあう家族との関係、馴染みの人や場との関係継続の支援、利用者同士の関係の支援について

○どのように本人と職員との対等な関係を築いていくか

○利用者が孤立せず、ともに暮らしを楽しむことができるか

1. サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら必要に応じて本人・家族の経過をフォローするなどの取組について

○環境や暮らし方の継続性等に配慮するよう、どのように働きかけをおこなうか

1. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
2. 一人ひとりの思いや意向、これまでの暮らしと現状の把握について

○利用者の意向の把握が困難な場合はどう取り組むのか

1. チームでつくる介護計画とモニタリング、個別の記録と実践への反映について

○どのように実情に即した介護計画を作成するか、計画を見直して行くか

1. 一人ひとりを支えるために、既存のサービスにとらわれない柔軟な支援や事業所の多機能化、地域資源との協働について

○柔軟な支援やサービスの多機能化の取り組み

1. かかりつけ医の受診支援、看護職との協働、入退院時の医療機関との連携、重度化や終末期に向けた方針の共有と支援について

○重度化・終末期での家族・医療関係者とどのように連携しての支援するのか

1. 利用者の急変や事故発生時の備えについて

○実際の場面で活かせる技術を習得するには

1. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援
2. 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保、利用者の希望の表出や自己決定の支援について

○プライバシーの確保、保護の具体的な取り組み

○利用者が自己決定が行えるような支援のあり方

1. 日々のその人らしい暮らし、役割・楽しみごとの支援、みだしなみやおしゃれ、食事・入浴、お金の所持や使うこと、電話や手紙、日常的な外出支援などについて

○それぞれ一人ひとりの合わせた支援のあり方

1. 栄養摂取や水分確保の支援、口腔内の清潔保持、排泄の自立支援、便秘の予防と対応、安眠や休息の支援、服薬支援などについて

○利用者に合わせた支援

○誤訳防止も含んだ服薬支援

1. 居心地のよい共用空間、共用空間における一人ひとりの居場所づくり、居心地良く過ごせる居室の配慮、一人ひとりの力を活かした安全な環境づくりについて

○一人ひとりの身体状況に合わせた環境面での工夫

５．低所得者に対するサービス提供について（本事業のみではなく、法人全体で）

６．介護予防拠点・地域交流施設を活用した取組について

○地域づくりの様々な取り組みに結び付けていけるか

７．その他特記事項